

2016年（平成28年）9月29日

11月1日（火）から
電車とバスの制服をリニューアル
スタイリストの伊賀大介氏がデザイン

相鉄グループ

相鉄グループでは、2016年（平成28年）11月1日（火）から相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）と相鉄バス㈱（本社・横浜市西区、社長・菅谷雅夫）の制服をリニューアルします。

これは、2017年（平成29年）12月に相鉄グループが創立100周年を迎え、2019年度（平成31年度）下期にJR線と、2022年度（平成34年度）下期には東急線との相互直通運転を予定していることから、相鉄グループのブランドイメージと認知度向上を図る「デザインブランドアッププロジェクト※」に取り組んでおり、その一環としてリニューアルするものです。

両社の制服は、共に29年ぶりの刷新となり、横浜をイメージし、清潔感があり普遍的で流行に左右されることがない濃紺色をベースに、お客様に安心と信頼を感じていただけるデザインにしています。デザインは、「くまモン」の生みの親で同プロジェクトの総合監修を務める水野学氏（グッドデザインカンパニー代表）と、多くのヒット映画の衣装を手がけている伊賀大介氏が協働。特別チームを編制し、社員の意見を多く取り入れるとともに同プロジェクトのコンセプトを反映させ、デザインと機能性を両立させました。

相鉄グループは、今後も「安全」、「安心」、「快適」なサービスを提供し、お客様の生活を支える事業にグループ一丸となって取り組んでまいります。

概要は別紙のとおりです。



リニューアルされる相模鉄道（左）と相鉄バス（右）の制服

制服リニューアルの概要

- 変更日 2016年(平成28年)11月1日(火)
- デザインコンセプト Thinking of the next century.
これまでの100年を礎に、これからの100年を創る。
- 主な特徴
 - ・横浜をイメージした濃紺色。
 - ・軽量かつストレッチ性に優れた素材を利用。
 - ・袖の金色のラインで階級の識別性を向上。
 - ・帽子の素材にメッシュを利用し、着帽した際の快適性を向上。
 - ・女性用の帽子を風の抵抗を考慮し、丸く全周にツバをデザイン。

※デザインブランドアッププロジェクトとは

お客様との最大の接点となる駅舎や車両、制服などを統一したデザインコンセプトに基づきリニューアルを進め、認知度や好感度を高めることで「選ばれる沿線」の実現を目指す取り組み。



水野学氏プロフィール

クリエイティブディレクター/クリエイティブコンサルタント/good design company
代表/慶應義塾大学特別招聘准教授

- 1972年 東京生まれ。
- 1996年 多摩美術大学グラフィックデザイン科卒業。
- 1998年 good design company 設立。ブランドづくりの根本からロゴ、商品企画、パッケージ、インテリアデザイン、コンサルティングまで、トータルにディレクションを行う。



伊賀大介氏プロフィール

- 1977年 新宿生まれ。
- 1999年 スタイリストとして活動を開始。多くの俳優・音楽家や広告、雑誌、映画、演劇などのスタイリストとして幅広く活躍している。最近では細田守監督の映画「バケモノの子」「おおかみこどもの雨と雪」などアニメーションの衣裳や大根仁監督の映画「バクマン。」「モテキ」など多くのヒット映画の衣裳を担当している。



(参 考)



新しい制服（鉄道・夏服）



現在の制服（鉄道・冬服）



技術系社員の作業着（鉄道・夏服）



技術系社員の作業着（鉄道・冬服）

※作業着については、2017年（平成29年）1月1日にリニューアル予定